

千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科において、膵癌（膵炎、膵疾患を含む）・胆管癌の 診断で2004年1月から2024年9月までに根治手術を施行された患者様へ

創薬標的プロテオミクスプロジェクトでは、千葉大学において新しい疾患バイオマーカーの探索を目的として計画された下記研究課題に共同研究機関として参画いたします。

本研究では膵癌（膵炎、膵疾患を含む）・胆管癌の診断で2004年1月から2024年9月までに千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科において根治手術を施行された患者様の試料・情報を、使用させていただきます。そのうち、医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所創薬標的プロテオミクスプロジェクトでは、2010年1月から2024年9月に肝胆膵外科を受診され、通常診療にて採血された血清の一部を使用して解析します。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございました場合、下のお問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供をしてほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

網羅的セクレトーム解析による膵胆道癌早期診断マーカーの同定と癌間質-免疫編集機構における癌進展機序の解明

研究責任者

足立淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所
創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

研究代表者

高野 重紹：千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学 講師

本研究の目的

消化器癌は、手術手技や放射線療法・化学療法の進歩にも関わらず、未だ多くの症例において予後が不良な悪性腫瘍です。さらに進行した腫瘍においてはその再発率の高さから患者の負担も大きくなります。したがって、早期発見、新規治療法の開発、個人に合わせた治療選択法の開発は急務です。

多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

本研究では、最新のプロテオーム解析技術を使い、ヒトの血液、尿、組織などの臨床材料から膵胆道癌の早期診断や癌進展度診断に深く関わるタンパク質を発見することを目的としています。

研究期間

この研究課題の研究期間は2018年倫理委員会承認後から2027年9月30日までです。

研究の方法

【研究対象者】

膵癌（膵炎、膵疾患を含む）・胆管癌の診断で2004年以降（～2024年9月）に千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者さんが対象です。

医薬基盤・健康・栄養研究所では、2010年1月から2024年9月までに通常診療時に提供いただいた血液（血清）を解析対象とします。

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血清のみ

【研究方法の概要】

医薬基盤・健康・栄養研究所において、血清からタンパク質を抽出し、質量分析計を使って膵胆道癌の診断に役に立つタンパク質を探索します。遺伝子解析は実施しません。

試料・情報の提供について

試料は宅急便で、千葉大学から医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。

個人情報の取り扱い

個人情報は千葉大学で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。

また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

お問い合わせ先

千葉大学医学部附属病院 臓器制御外科学 医師 高野 重紹

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1

電話：043-222-7171 内線 72225 肝胆膵外科

医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー
足立淳

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

電話：072-641-9811 内線 3502